



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754  
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)

第483号

2020年11月30日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

## 子どもが主役の佐倉市小規模特認校を視察

11月14日伊原忠市議は、佐倉市立弥富小学校を視察し授業を見学しました。この学校は小規模特認校として位置付けられ、佐倉市内の全域から転入学を受け入れています。廊下ですれ違う保護者からも挨拶されたのには驚きました。この学校は、誰でも歓迎する温かい雰囲気を感じました。

弥富小学校では現在、15人が学区外から登校し、1年生10人、2年生9人、3年生7人、4年生10人、5年生7人、6年生6人、特別支援2人の全校生徒51人が学んでいます。米本南小学校とほぼ同規模の学校です。子どもたちは全員が発言し、その発言内容をみんなで吟味するので、授業から落ちこぼれることがなく全員が主役です。

## 子どもが輝き、親も先生もゆとりがある小規模校

たまたま声をかけた5年生のあるお母さんのお話を紹介します。一年生の時にA小学校に入学しましたが、一学級40人近くで、先生も事細かく子どもを見る余裕がありませんでした。わが子は勉強にも意欲がなく、勉強以外のトラブルに警戒しながら、親子とも神経を使う毎日でした。3年生の授業参観の時、離席や私語が多く、友達の発表を聞いていない姿を目の当たりにして転校を考えました。



転校先の弥富小は、10人にも満たないクラスで、子どもたちは生き生きと先生の話に耳を傾け、私語もなくキラキラした瞳で授業を受けています。学年を超えて、仲良くでき、いろいろな子に当たり前のようによく声をかけています。

係や委員会などやる場面が多く、誰かに任せるのではなく、自分の責任で行うので積極的になります。争い事も大きくなる前に先生が仲介し、学校内で解決してくれるので親の心の負担は少ないです。本当に小規模だからこそできる環境で、心の豊かな子どもに育てられています。と、うれしくて仕方がない様子で語ってくれました。

## 八千代市も魅力あふれる小規模・少人数学校を残せ

翻って八千代市では、9月議会で教育長は「過度な少人数学級は問題がある」と発言し、服部市長は「6人とか7人とか、そういう学級活動をやっているのは理解に苦しむ」と発言をしました。

近隣の弥富小学校を見学しても同じ言葉が言えるでしょうか。「小規模だからこそ、子どもに良い影響が与えられる」学校づくり、地域づくりが行われている事実を知らずに行政を担当していることこそ理解に苦しみます。

日本共産党は阿蘇・米本の小学校存続のために計画の白紙撤回を求めて最後まで頑張ります。